

**製品名: PDLIM5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15927**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	64kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PDLIM5
別名	PDLIM5; ENH; L9; PDZ and LIM domain protein 5; Enigma homolog; Enigma-like PDZ and LIM domains protein
遺伝子 ID	10611.0
SwissProt ID	Q96HC4
免疫原	抗血清はヒト PDLIM5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 208-257

**背景**

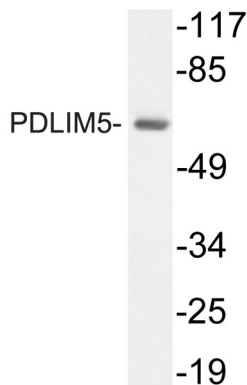
この遺伝子は、N末端に100アミノ酸からなるPDZドメイン、C末端に1~3個のLIMドメインを有するタンパク質ファミリーのメ

ンバーをコードしています。このファミリーメンバーは、横紋筋においてタンパク質キナーゼを Z ディスクに繫留する足場タンパク質として機能します。心筋細胞の増殖と興奮性シナプスのシナプス後成長の抑制に機能すると考えられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]、注意：ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。、疾患：統合失調症の遺伝的感応性に関連している可能性があります。PDLIM5 は、双極性障害、統合失調症、および重度のうつ病患者の脳で一般的に増加しています。、機能：PKC を Z ディスク領域に足場として配置することで、心臓の発達に重要な役割を果たす可能性があります。、類似性：1 つの PDZ (DHR) ドメインを含みます。、類似性：3 つの LIM 亜鉛結合ドメインを含みます。、サブユニット：LIM ドメインを介して様々な PKC アイソフォームと相互作用します。PDZ ドメインを介してアクチンおよび  $\alpha$ -アクチニンと相互作用します。、組織特異性：心臓および骨格筋特異的です。、

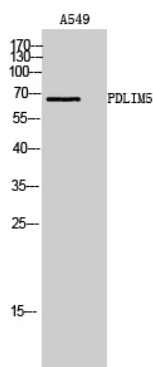
## 研究分野

神経科学; 神経伝達; 分泌小胞; シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞骨格; マイクロフィラメント; アクチンなど; アクチン結合タンパク質; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; PKC; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達

## 画像データ



PDLIM5 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PDLIM5 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析